



筑波大学システム情報系教授

庄司 学



能登半島地震により、道路交通インフラの被災に伴う甚大な交通支障が発生した。国道 249 号線などの通行障害は、救命・救助活動や応急復旧活動などに対して大きな影響を及ぼした。道路交通インフラの地震による被災メカニズムと災害対応への影響との関係を考察し、インフラ・レジリエンスの今後のあり方について提言する。

道路交通インフラの

地震による被災の影響について

—令和 6 年能登半島地震災害から学ぶこと—

◆開催形式：現地とオンライン（zoom ウェビナー）のハイブリッド開催

◆参加費：無料

◆申込方法：下記 URL または QR コードよりお申し込みください。ご登録いただきましたメールアドレス宛に参加方法をご案内します。

◆申込 URL：<https://forms.gle/iUANjYuirHdA4Er9>

◆申込期限：2024 年 9 月 3 日（火）9:00 まで



2024

9 月 3 日（火）

16:30-18:00

場所：名古屋大学減災館 1 階減災ホール・オンライン



主催：名古屋大学減災連携研究センター

問合せ：防災アカデミー担当

MAIL: inquiry-academy@gensai.nagoya-u.ac.jp